

市政記者各位

高齢者施設の防災力を高める支援を行います！！

高齢者施設においては、要配慮者が多くサービスを利用されるため、災害発生時に適切な対応を行い、利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築する「防災力」が特に重要です。

また、昨年度から、業務継続計画（BCP）の策定や訓練・研修の実施が義務化されていますが、高齢者施設の運営事業者も、防災の専門家がいないわけではなく、作成した計画が災害時にうまく機能するのか、避難訓練は具体的に何をすれば良いのかなど、不安の声が聞かれていました。

そこで、福岡市では今年度、高齢者施設に防災のコンサルタントを派遣し、業務継続計画（BCP）及び避難確保計画の検証や、効果的な訓練の実施に関する助言等、きめ細かな伴走支援を行うことで、高齢者施設の「防災力」を高めます。

記

1 事業概要

防災のコンサルタントを高齢者施設に派遣し、業務継続計画等の検証や、施設で行う研修・訓練に関する助言を行う。また、事業を通じて把握したポイントを整理した手引き等を作成し、市内関係施設に展開する。

2 対象となる施設（8から12施設に派遣）

特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、
介護老人保健施設、介護医療院、住宅型有料老人ホーム、
介護付き有料老人ホーム、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、
小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、
通所系サービス（通所介護・認知症対応型通所介護）



3 スケジュール

【7月頃から】

派遣を希望する施設へ防災のコンサルタントを派遣

【問い合わせ先】

福祉局高齢社会部事業者指導課 立山
電話 711-4973（内線 2044）

福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる社会を目指す『福岡100』を進めています。

『福岡100』WEBサイト▷



福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ